

2023年7月 東京地区百貨店売上高概況

2023年8月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1,401億円余
2. 前年同月比(増減率)	12.2%(23か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭13.2%(91.0%)：非店頭3.4%(9.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	729,769㎡ (前年同月比：-8.2%)
6. 総従業員数	13,851人 (前年同月比：-7.0%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 14.6%、1-3月 17.2%、2-4月 14.5%、 3-5月 10.7%、4-6月 9.8%、5-7月 10.1%

[参考] 2022年7月の売上高増減率は17.6%

【特徴】

- (1) 7月の東京地区は、売上高12.2%増、入店客数12.2%増と共に二桁増となった。連日の猛暑から盛夏商材の動きが活発だった他、ラグジュアリーブランドや宝飾品等の高額商材が国内、インバウンド共に好調に推移したことで前年を上回った。2019年比では売上高2.9%増と、2022年12月以来7か月ぶりにプラスに転じ、回復基調が鮮明となった。
- (2) 商品別では、主要5品目全てプラスとなった。主力の衣料品(15.5%増/22か月連続)は、外出需要と天候与件からTシャツ、カットソー、ワンピース等盛夏商材が好調に推移した他、コロナ禍で中止していた花火大会や夏祭り・盆踊り等、各種納涼イベントが4年振りに再開したことで、浴衣も大きな伸びを示した。
- (3) 身のまわり品(21.4%増/23か月連続)は、ラグジュアリーブランドが売上を牽引し、円安効果によるインバウンド需要も売上を押し上げた。また、記録的な猛暑から日傘、帽子、サングラス等が好調だった。雑貨(11.0%増/23か月連続)においても、化粧品ではUV関連商品が伸長した。
- (4) 食料品(5.4%増/3か月連続)は、国内外の手土産需要から引き続き菓子が好調に推移し、特にゼリー等の冷菓が動いた他、土用の丑の日(7/30)で鰻も伸長した。中元商戦は、店頭回帰が顕著にみられたが、ECを含むトータルではほぼ前年並みで推移した。猛暑で賑わったビアガーデンを含め、レストランは好調で17か月連続のプラスとなった。
- (5) 8月中間段階の商況は、前年比21.4%増(8/17時点)で推移している。コロナ前の2019年比でも0.9%増と回復基調は継続している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した：16店、②変化なし：1店、③減少した：1店
- (3) 7月歳時記(中元、クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した：2店、②変化なし：10店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年7月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	140,115,227	100.0	12.2
紳士服・洋品	9,288,658	6.6	14.5
婦人服・洋品	20,800,539	14.8	18.3
子供服・洋品	1,786,671	1.3	11.1
その他衣料品	1,818,815	1.3	-2.9
衣 料 品	33,694,683	24.0	15.5
身のまわり品	24,914,267	17.8	21.4
化粧品	11,112,711	7.9	24.4
美術・宝飾・貴金属	15,572,050	11.1	2.1
その他雑貨	4,793,985	3.4	14.7
雑 貨	31,478,746	22.5	11.0
家 具	1,469,317	1.0	2.7
家 電	902,232	0.6	24.4
その他家庭用品	2,894,566	2.1	4.0
家 庭 用 品	5,266,115	3.8	6.6
生 鮮 食 品	4,792,748	3.4	4.3
菓 子	11,481,277	8.2	14.3
惣 菜	7,678,389	5.5	6.6
その他食料品	13,280,938	9.5	-1.5
食 料 品	37,233,952	26.6	5.4
食 堂 喫 茶	2,803,509	2.0	21.2
サ ー ビ ス	1,772,802	1.3	-6.9
そ の 他	2,951,753	2.1	28.2

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,449,162 千円	-4.3
従 業 員 数	13,851 人	-7.0
店 舗 面 積	729,769 m ²	-8.2

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は全てプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、紳士服・洋品が21か月連続、婦人服・洋品が23か月連続でプラスとなったほか、生鮮食品、惣菜が2か月連続、菓子が29か月連続でプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	12.2	—	23か月連続プラス
紳士服・洋品	14.5	0.9	21か月連続プラス
婦人服・洋品	18.3	2.6	23か月連続プラス
子供服・洋品	11.1	0.1	13か月連続プラス
その他衣料品	-2.9	-0.0	3か月連続マイナス
衣料品	15.5	3.6	22か月連続プラス
身のまわり品	21.4	3.5	23か月連続プラス
化粧品	24.4	1.7	23か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	2.1	0.3	2か月連続プラス*
その他雑貨	14.7	0.5	17か月連続プラス*
雑貨	11.0	2.5	23か月連続プラス
家具	2.7	0.0	2か月連続プラス
家電	24.4	0.1	10か月連続プラス
その他家庭用品	4.0	0.1	4か月ぶりプラス
家庭用品	6.6	0.3	7か月連続プラス
生鮮食品	4.3	0.2	2か月連続プラス*
菓子	14.3	1.2	29か月連続プラス*
惣菜	6.6	0.4	2か月連続プラス*
その他食料品	-1.5	-0.2	5か月連続マイナス*
食料品	5.4	1.5	3か月連続プラス
食堂喫茶	21.2	0.4	17か月連続プラス
サービス	-6.9	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他	28.2	0.5	6か月連続プラス
商品券	-4.3	-0.1	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>